

新幹線プレス

2014年9月8日 No.182

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

■運輸所の年休問題

何日申し込んでも年休が入らない 必要な要員を配置せよ

本部の要求

社員から申請のあった年休は全て付与すること。

臨時列車等、波動業務に対応した適正要員を配置すること。

私傷病休暇、転動・パート異動に伴う教育や見習い、研修センターへの入所、QC、業研等での出張にかかる人数を必要要員として要員化すること。

地本の要求

年休を申請した日に発給出来る要員を確保すること。

本人の同意のない一方的な休日出勤は、直ちに止めること。

年休が入らない。年度末には大量の年休が失効した。会社は年間平均17日取得されているというが全然信用できない。退職者がまとめて一ヶ月休むのは年休取得ではなく単なる年休消化だ。勤務の五日前に付与されるのは本来の年休取得とはいえない。年休が何日消化できたかが問題なのではない。何日申し込んでも年休が入らないことが問題なのだ。

原因は明確だ。必要な要員を配置していないからだ。列車本数の波動に対応できるだけの要員を配置していないからだ。一方的な休日出勤は「ゼロにならない」と発言していることをみれば、会社が計画的に要員を不足状態にしていることはあきらかではないか。それに加えてQCだ業研だプロジェクトだといろいろおしつけるのでますます要員が不足している。365日何時申し込んでも抽選ということは人が足りないということだ。

会社は必要要員を配置せよ。申し込んだ年休は全て付与しろ！